

北火協と保安 ニュース No.313

令和8年8月3日

〒060-0005

札幌市中央区北5条西6丁目 第2道通ビル 7F

一般社団法人北海道火薬類保安協会

TEL (011) 200-8330

FAX (011) 200-8331

郵便振込口座番号 02780-7-11509

●令和8年度火薬類取扱保安責任者等資格試験出願状況

●火薬類事故防止月間の実施(8/20 ~9/19)

●令和8年度上半期の全国の事故発生状況について

●関係行政機関担当者名簿について

.....

令和8年度火薬類取扱保安責任者等資格試験出願状況

本年10月25日(日)に実施される、標記試験の願書が7月27日に締め切られました。
出願状況及び試験日時、試験会場は次の通りです。

(1) 試験日時

○甲種及び乙種火薬類取扱保安責任者試験 : 午後1時～午後3時まで

＊ただし、一般火薬免除者は、午後1時～午後2時まで

○丙種火薬類製造保安責任者試験 : 午後1時～午後3時30分まで

(2) 北海道の試験会場

○ 札幌市 札幌コンベンションセンター

札幌市白石区東札幌 6条1丁目1-1

○ 旭川市 旭川勤労者福祉会館

旭川市6条通4丁目

○ 釧路市 釧路市生涯学習センター

釧路市幣舞町4番28号

(まなぼっと幣舞)

区分 場所	甲 種		計	乙 種		計	丙 種 製 造	総 計
	一般	免除		一般	免除			
札 幌	176	10	186	5	1	6	2	194
旭 川	47	1	48	3		3	2	53
釧 路	28	1	29	1		1	6	36
計	247	12	263	9	1	10	10	283

令和8年度火薬類事故防止月間の実施について

火薬類の取扱い消費に伴う、災害事故・盗難・不正流出等の未然防止につきましては、平素より格別のご配慮をいただいておりますが、当協会では特に「自主点検の強化」を重点にその推進に努めてまいりました。

これを具体的、効果的に推進するため重点項目を定め、実施時期を前期と後期の年2回に分けて、前期については6月の全国一斉の「火薬類危害予防週間」に、また、後期については8月から9月にかけての北火協主催の「火薬類事故防止月間」に合わせて各重点項目を実施し、災害事故等の未然防止に一定の成果を挙げてきているところです。

改めて、初心に帰り、作業手順の確認の徹底を図るようお願いします。また事故防止月間中は、産業火薬類による事故のうち最も多い飛石事故の防止と火薬類消費場所からの盗難、不正流出の防止に重点を置いた自主点検をお願いいたします。

実 施 要 領

1 目的

火薬類の取扱い管理を厳正にし、災害防止・盗難・不正流出防止の徹底を期するため、取扱い消費現場の総点検を実施するとともに月間趣旨の徹底を図り、その実を挙げるものとする。

2 実施期間

令和8年8月20日(木) ～ 9月19日(土)の1カ月間

3 主 催

(一社)北海道火薬類保安協会

4 共催

(一社)北海道建設業協会

(一社)北海道建設業連合会北海道支部

(一社)日本砕石協会北海道地方本部

5 重点項目

- (1)点検項目表を活用した、自主点検の実施
- (2)法令に基づく保安教育、定期自主検査の実施
- (3)飛石事故の防止措置並びに残火薬の適正な処理
- (4)消費現場等の巡回指導の実施
- (5)期間中若しくは終了後の研修会の実施

【主な点検項目】

区 分	主 な 点 検 内 容
火薬庫	警戒設備、火薬類の収納、庫内の清掃、警報装置と点検状況、帳簿の記載内容、保安責任者の異動、法規等の掲示など
取扱所	境界柵、警戒札、扉や錠前の破損状況、消火設備の設置、火薬の経由や消費量の記録など
火工所	境界柵や警戒札、記録責任者と帳簿、常時見張人の確保など
消費現場	取扱所、火工所、発破場所それぞれの火薬の管理、火薬類の運搬、発破母線の管理、発破記録責任者と記録状況など
従事者	心身障害にかかる「医師の診断書」及び健康判定書など

令和8年上半期の全国の事故発生状況(1月～6月)

【事故(A～C)】

	製造中	消費中	運搬中	貯蔵中	がんろう中	その他事故
産業火薬	1	0	0	0	0	1
煙火	0	4	0	0	0	0
がん具煙火	0	0	0	0	1	0
計	1	4	0	0	1	1

【異常事象】

産業火薬	2	3	0	0	0	1
煙火	0	9	0	0	0	0
がん具煙火	0	4	0	0	0	0
計	2	16	0	0	0	1

* 事故のAからCは重大事故別の等級。異常事象とは事故と同じレベルの態様ではないが的確に事案の内容を把握し、今後の保安対策等に資すべき案件。

全国の事故発生状況ですが、死亡者はでておらず、負傷者が8名（うち重傷1名、軽傷7名）となっており、事故レベルとしては、すべての案件でCクラスとなっています。

北海道での発生ですが、トンネル工事内での飛石事故が1件（異常事象：後志振興局仁木町）、雪崩制御用煙火の使用で負傷した方が1名（重症）（事故C：上川振興局占冠村）の計2件で、いずれも令和8年2月に発生しています。

占冠村で起きた事故ですが、スキー場において、人口雪崩を発生させるために雪崩制御用煙火（3号玉相当）を消費したところ、点火後、作業者が導火線に火が入っているか確認しようとしていたため、煙火が1mの顔面近くで爆発し、右眼球破裂の重傷を負ったものです。煙火の事故ではありますが、不発の確認などトンネルや採石場の発破作業でも起こりうる事故です。この煙火は日本製ですが、取扱いについては煙火協会の講習会でも学ぶことができますが、負傷された方は煙火協会の講習会に参加していなかったとのことでした。

今年は比較的大きな事故の発生が少ないですが、火薬類の管理の杜撰さが原因と思われる事案も数多くありました。

①製品の出庫確認の徹底

火薬製造工場から仙台市に出荷した自動車用緊急保安円筒2箱中1箱が、所在不明となっていることが、運輸会社の仙台支店での荷下ろしで発覚した。その後の対応は不明ですが、倉庫から運輸会社の支店までは直通なので、倉庫での出荷時の製品把握が問題になる事案でしょう。

②倉庫内製品の的確な把握

倉庫が火災となり、倉庫に保管されていた火薬類収納容器の残渣（ごんさ）を分析したところ、ニトログリセリンの含有が認められた。30年以上前から保管されていたニトログリセリンが自然分解し、自然発火に至ったものと判定された。硝酸エステル系の安定度試験すらしていないのであれば、事故は必然であったと思われます。

関係行政機関所管担当者名簿

北海道産業保安監督部					
課 長	課長補佐	課長補佐	保安係長	電話	F A X
保 安 課	伊藤 壽紹	鈴木 正和	高木 宏昌	011-709-8346	011-707-6337
北海道資源エネルギー局資源エネルギー課					
担当課長	課長補佐	課長補佐	専門主任	電話	F A X
産炭地・保安担当	池田 和明	目黒 裕人	本間 克己	011-204-5321	011-222-5975
札幌市消防局					
	課 長	危険物保安係長	火薬担当者	電 話	F A X
査察規制課	岩本 伸一	辻 宜拓	毛利 浩也	011-215-2050	011-281-8119
			高橋 利典		
			松井 喬平		
			本間 智浩		
北海道振興局					
振 興 局	課 長	担当係長主査	火薬担当者	電 話	F A X
	主 幹				
石狩振興局	松本 励	鈴木 裕之	赤松 佑亮	011-204-5829	011-232-1950
渡島総合振興局	久保 真嗣	高橋 悠也	土佐 泰志	0138-47-9460	0138-47-9207
	松田 義人				
檜山振興局	辻 直樹	内海 智詞	内海 智詞	0139-52-6641	0139-52-0569
後志総合振興局	鈴木 信一	脇 尚弘	高橋 晟人	0136-23-1364	0136-22-0901
小樽商工労働事務所	神田 恭吾		齋藤 麻里夫	0134-22-5525	0134-22-4714
空知総合振興局	後藤 宏行	鈴木 一弘	長内 研	0126-20-0062	0126-25-9712
	田中 裕人				
上川総合振興局	飯澤 聖香	佐藤 久法	清水 雅矢	0166-46-5941	0166-46-5208
留萌振興局	前田 康行	後藤 洋一	後藤 洋一	0164-42-8442	0164-42-1937
宗谷総合振興局	杉本 大輔	斉藤 浩次	斉藤 浩次	0162-33-2926	0162-33-2629
オホーツク総合振興局	佐藤 航志	澤田 直也	鈴木 裕樹	0152-41-0637	0152-44-3184
胆振総合振興局	木之内将一	臼杵 正泰	工藤 眞悟	0143-24-9591	0143-24-4796
	原田 雅孝				
日高振興局	高田 匡介	小林 摂	高畑 佳奈	0146-22-9282	0146-22-7517
十勝総合振興局	高橋 浩次	小畑 雅弘	佐々木亜月	0155-26-9045	0155-25-7756
釧路総合振興局	間宮 寿之	大島 知之	諏訪 龍哉	0154-43-9183	0154-41-0967
	山崎 龍人				
根室振興局	岡坂 直光	藤田 栄一郎	塚田 煌琉	0153-24-5619	0153-23-6223

【お知らせ】

北火協は8月12日(水)～14日(金)までお盆休みをいただきます。